

平成28年度 吉野ヶ里町立東脊振中学校 学校評価計画

1 学校教育目標	2 本年度の重点目標
自主的に学び合う生徒の育成	① 学習の構えを徹底し、学力向上を図る。 ② いじめ防止と不登校への対応の充実など人権教育を中核に据えた生徒指導や特別支援教育の充実を図る。 ③ 小中連携による校内研究の充実を図る。 ④ 個性を伸ばす部活動の推進に努める。

3 目標・評価

① 学習規律の徹底と学力向上

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●学力向上	学び合う授業の指導力の向上	・学力向上アクションプランに基づき、「めあて」「課題解決(学び合う活動)」「まとめ・振り返り」の授業を100%実践する。 ・教育センター講座などを、1人1講座以上受講する。 ・全教職員が研究授業を行う。	・学力向上アクションプランの実践状況をチェック表で毎月確認する。 ・黒板に「めあて」「まとめ」のカードを貼り、それを明確にした授業を行う。 ・学習指導案に「めあて」「課題解決」「まとめ・振り返り」を明記する。
教育活動	●学力向上	読書量が増加と読書の幅の広がり	・学年、教科との連携を図る。 ・図書資料の充実と環境づくりに努める。 ・1人1か月に3冊貸出、年間8,000冊の貸出をする。	・学年・教科と連携し、図書に関する情報発信の機会を増やす。 ・生徒が親しみやすく、利用しやすい環境づくりに努める。 ・委員会と協力し、定期的なイベントを開催する。
教育活動	●教育の質の向上に向けたICT利活用教育の実施	ICT利活用による学習内容の理解促進	・電子黒板等を利用した授業づくりを行い、電子黒板の活用率が90%を上回る。 ・ICT利活用に関する職員研修を年2回以上実施する。	・電子黒板の操作・活用についての全職員研修会を実施する。 ・ソフト活用スキルアップについて的小規模研修会を実施し、活用力向上を図る。

② 生徒指導・特別支援教育の充実

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●いじめの問題への対応	いじめの早期発見・早期対応と仲間づくりの充実	・毎月、生活アンケートを実施し、いじめの早期発見と対応を行う。 ・学校生活が楽しいと回答する生徒が70%以上になるようにする。	・出番・承認・称賛により、生徒の自己肯定感を高める。 ・いじめへの組織的な対応体制を作り、未然防止に向けて、定期的に職員間の情報交換を行い、共通理解を図る。 ・自己肯定感と他者理解を高めるため、道徳教育の充実を図り、構成的グループエンカウンターなどの活動を実践する。
教育活動	●心の教育(人権教育)	人権意識を高め合い、自他を尊重する心情と行動力を持った集団の育成	・全校集会等を活用し、人権意識を高める講話を行う。 ・人権学習に取り組み、人権意識を高める。 ・職員の人権・同和教育に関する意識と指導力を高めるため、校内研修を行い、校外研修に1人1回以上参加する。	・人権・同和教育担当を中心に講話や集会等に取り組む。 ・生徒が協働して取り組む中で達成感を得たり問題解決力を身に付けたりすることのできる生徒会活動、人権集会、平和学習など実施する。 ・外部講師を招聘して校内研修を充実させるとともに、校外研修への参加推進を担当が集約して図る。

③ 小中連携による校内研究の充実

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●心の教育(道徳教育)	小中の合同研修会や相互授業参観の実施	・小中合同研修会を年3回実施し、共通理解と協働活動を推進する。 ・全職員が相互に授業を参観する。	・道徳の学習指導案を小中で統一する。 ・学期に1回は、相互に授業参観できるような時間割の調整をする。

④ 個性を伸ばす部活動の推進

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●健康・体づくり	基礎体力の向上	・先進持久力(シャトルラン)の測定値が向上した生徒が50%以上になるようにする。	・体育学習及び部活動の充実を図る。

●は共通評価項目、○は独自評価項目